

経済指標ウォッチャー

米国CPI 11月も上昇 高水準が続く

人手不足による人件費の高騰が持続的に物価を押し上げる可能性も

消費者物価指数 (CPI) とは？

CPIとは消費者が実際に購入する段階の、輸送・食品・医療などの消費財やサービスの価格（物価）の変動を表す指数。CPIの項目、構成比、算出方法には国ごとに違いがある。米国では労働省が毎月中旬ごろに公表する。物価変動の基調をみるために価格変動の大きい項目を除いたコアCPIが重視されることが多い。米国ではCPIからエネルギーと食品を除いて、コアCPIが算出される。

(参考：日本ではCPIから食品を除いてコアCPIが算出される)

11月のCPIは前年同月比6.8%上昇

米労働省が10日に公表した11月のCPIは、前年同月比+6.8%（市場予想：同+6.8%）となり、およそ31年ぶりに6.0%を超えた10月からさらに加速しました。5.0%以上の伸びが続くのは7カ月連続で、高水準が続いています。

変動の大きいエネルギーと食品を除いたコアCPIも前月から上昇し、同+4.9%（市場予想：同+4.9%）となりました(図表1)。

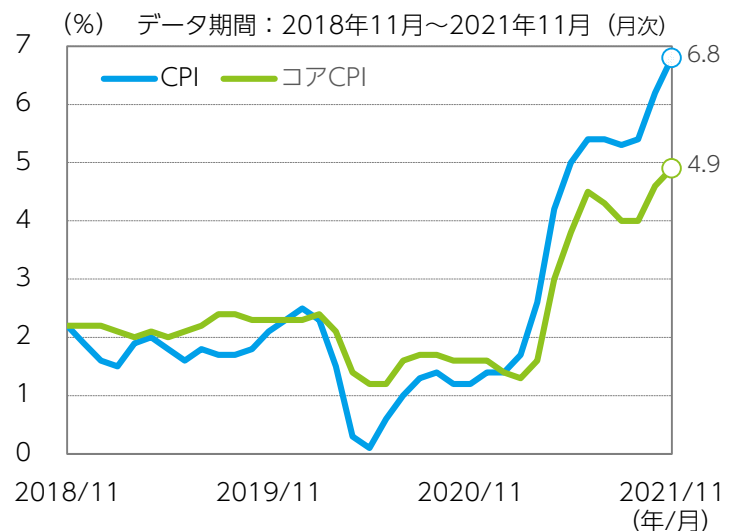
経済活動の再開にともなう原材料や人手不足などの供給制約が長期化していることに加え、ガソリンを中心としたエネルギー価格の上昇が続いていることが、CPIの上昇要因となったとみられます。

人手不足による賃金上昇も物価の上昇圧力に

新型コロナウイルス感染防止策のため講じられていたロックダウン（都市封鎖）が、2021年5月以降、順次解除され、経済活動が正常化に向かいつつあります。経済活動の再開によるモノからサービスへの消費の移行などにより、小売や娯楽・宿泊などのサービス業を中心に人件費が上昇しています（図表2）。人件費の上昇を背景に、足元では輸送サービスやホテル宿泊費などの価格も上昇傾向にあり、物価上昇の一因となっています。

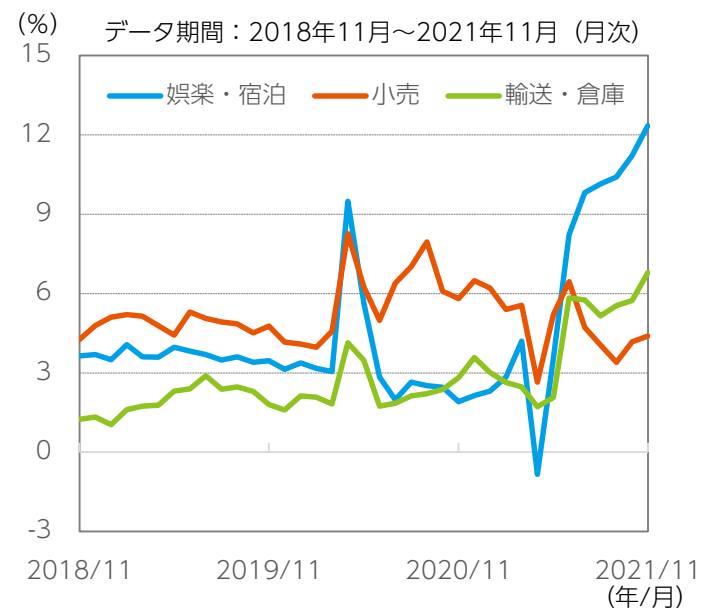
原材料や人手不足といった供給制約の解消にも目途が立たないなか、今後は、賃金の上昇が物価を持続的に押し上げていく可能性があります。

図表1：CPI、コアCPIともに高水準が続く



※米国のCPIとコアCPIの推移（前年同月比）

図表2：娯楽・宿泊などサービス業の人件費が上昇



※業種別平均時給の推移（前年同月比）

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>